

(案)

藤沢市新総合計画実施計画書  
「私たちの政府」  
ふじさわ未来白書

[2011年度(平成23年度)~2013年度(平成25年度)]

2011年(平成23年)版

藤沢市

## 目 次

<b>第1章 実施計画の目的</b> .....	
1 実施計画の概要.....	
2 実施計画の位置づけと役割.....	
3 実施計画の目的.....	
4 実施計画の定義.....	
5 市域全体と地域の計画.....	
<b>第2章 まちづくり事業の前提</b> .....	
1 将来像と理念、目標の継承.....	
2 まちづくり事業の定義.....	
3 まちづくり事業の進め方.....	
4 政策仕分けによるまちづくり行政事業の選定.....	
<b>第3章 短期財政計画</b> .....	
1 計画期間における展望.....	
2 短期財政計画の位置づけ.....	
3 短期財政計画.....	
<b>第4章 市域全体のまちづくり 実施計画</b> .....	
1 まちづくり事業計画の見方.....	
2 まちづくり情報.....	
3 まちづくりアイデア提案事業.....	
4 戦略目標に関する指標等.....	
<b>第5章 地区別まちづくり 実施計画</b> .....	
1 まちづくり事業計画の見方.....	
2 まちづくり情報.....	
3 まちづくりアイデア提案事業.....	
4 地域まちづくり目標に関する指標等.....	
片瀬地区まちづくり実施計画.....	
鵠沼地区まちづくり実施計画.....	
辻堂地区まちづくり実施計画.....	
村岡地区まちづくり実施計画.....	
藤沢地区まちづくり実施計画.....	
明治地区まちづくり実施計画.....	
善行地区まちづくり実施計画.....	
湘南大庭地区まちづくり実施計画.....	
六会地区まちづくり実施計画.....	
湘南台地区まちづくり実施計画.....	
遠藤地区まちづくり実施計画.....	
長後地区まちづくり実施計画.....	
御所見地区まちづくり実施計画.....	

# 第1章

## 実施計画の目的

## 1 実施計画の概要

藤沢市新総合計画実施計画は、「実施するための計画」です。

基本構想の理念、基本計画のふじさわ未来課題\*や目標等に向かっての活動集であり、行動体系です。

活動とは、市民、地域と行政の力や知恵、予算などの資源をもとに、一定の結果を生み出すことであり、実施計画においては、この活動を集め、協働や連携のきっかけづくりや相乗効果の発揮、より高い成果を生む活動への転換、新しい事業への発展などを図ります。

また、活動が着実に進んでいるか、基本構想や基本計画の理念や方向性に沿っているか、その結果として暮らしやすさが実現しているか、といった点検や成果の確認も行っています。

## 2 実施計画の位置づけと役割

実施計画は、基本構想、基本計画から理念、目標を踏襲し、基本計画の情報をもとに行動と成果を結びつけるための、活動のネットワークをつくるものです。

また、具体的にどんな活動をしたことで目標が達成され、ふじさわ未来課題の状態に向けた改善がなされているかを表し、点検する役割を持ちます。

さらに、行政の予算を伴う活動（事業）については、短期財政計画として、活動が実行できるかの見通しを予測します。

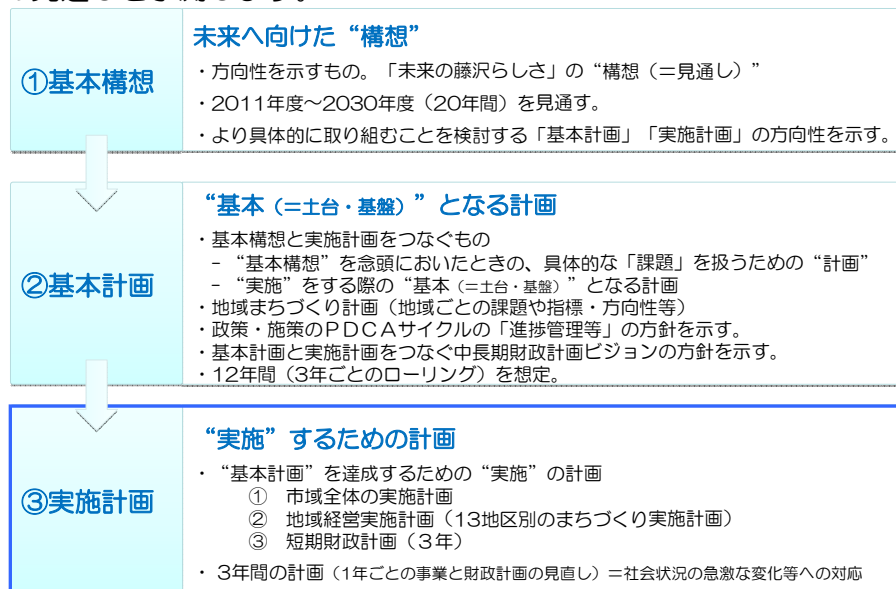


図 1 総合計画の構造

## 3 実施計画の目的

実施計画は、活動を実行することが目的ではなく、基本構想、基本計画を具現化するための活動を位置づけ、将来像、ふじさわ未来課題、目標等がより良い状態になることを目的としています。

また、実施計画は、総合計に位置づけられた事業を方向性ごとに体系づけたデータベースです。

未来に向けてさまざまな活動を行っている市民、地域と行政が共有し、それぞれの主体

\* ふじさわ未来課題 市民への「気づき」調査などから、将来像を実現する9つの「藤沢づくり」のめざす方向性と3つの活動領域を具体化したもので、各地区での行動と全市の行動の相乗効果を促す、まちづくりの共通課題として位置づけた基本計画の大きなテーマとなっています。

が行う活動間での相互連携や、協働等のきっかけとなることや、活動のための予算の適正化や事業の手法の転換、新しい活動を創出することを目的としています。

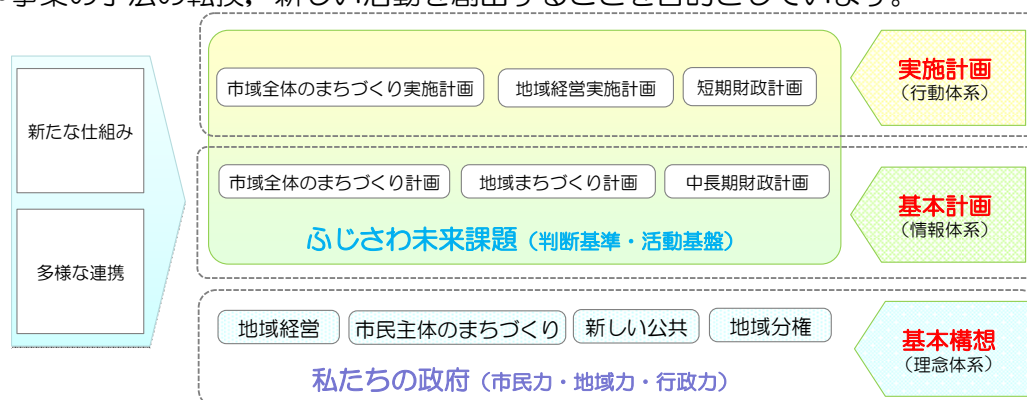


図 2 総合計画の体系

#### 4 実施計画の定義

実施計画は、計画期間を3年（2011年度（平成23年度）～2013年度（平成25年度））とし、毎年ローリング\*を行います。

このローリングにより、社会経済情勢に柔軟に対応し、現状把握と投入できる資源、活動期間、検討スケジュール、新たな可能性等を模索し、事業の点検を行います。

#### 5 市域全体と地域の計画

実施計画は、市域全体のまちづくり実施計画と地域経営実施計画（地区別まちづくり実施計画）に分類します。

\* ローリング 計画の実行→分析・評価→計画の修正・実行というサイクルを繰り返していく方法をいいます。



## 第2章

# まちづくり事業の前提

## 1 将来像と理念、目標の継承

基本構想に掲げられた将来像、都市ビジョン、藤沢づくりのめざす方向性、基本計画に掲げられた、ふじさわ未来課題、目標、成果の視点等を引き継いで、これらに効果があるものをまちづくり事業（計画事業）として位置づけます。

### (1) 将来像

基本構想に、「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」を掲げています。

### (2) 総合計画の理念

総合計画の前提となる理念は、次の2つです。

#### ア 新しい公共

市民、市民ボランティア、NPO、大学、企業等の知恵と力を集め、民間と行政とのパートナーシップを強化し、それぞれの持つ資源やノウハウを活用しながら、多様な主体との公民連携による「新しい公共」を実現します。

#### イ 地域分権

市の権限と予算などを市民センター・公民館に委譲する「市内分権」、地域経営会議と市民センター・公民館が連携して地域のめざす方向を明らかにし、自助、共助、公助によって地域づくりを進める「地域内分権」を、総称して「地域分権」といいます。

## 2 まちづくり事業の定義

まちづくり事業は、その活動を実施する主体に応じて活動の目標やアイデアをしたもので、6つの事業に分類します。

その中には、多様な主体への提案や協働のための働きかけも含まれていますが、第一には、生活実感に基づく暮らしやすさを、様々な活動から築いていくという前提があります。

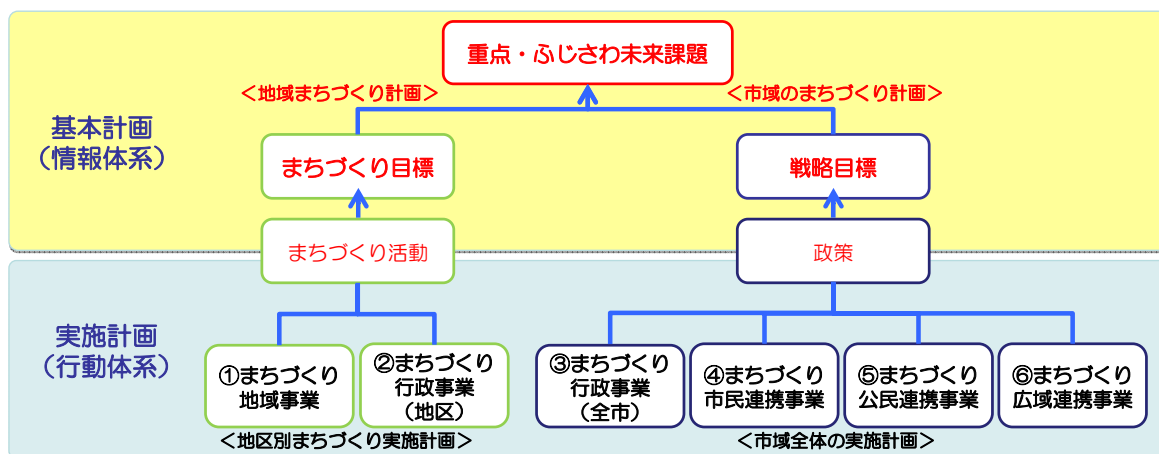


図 3 まちづくり事業の分類

### (1) まちづくり地域事業

各地区の様々な組織・団体・個人が主体となり、地域経営会議が連携・協働・調整を促しながら推進する事業

### (2) まちづくり行政事業（地区）

市民センター・公民館が主体となり、地域の声を聞きながら、地域の様々な組織・団体・個人と協力して、行政責任で推進する事業

### (3) まちづくり行政事業（全市）

全市的な観点から、行政の様々な部署において、各地区の実態やニーズ、全市的な課題を踏まえて、行政責任で推進する事業

### (4) まちづくり市民連携事業



全市的な観点から、様々な市民団体・NPO・企業・学校などが連携をして、また、地区間で連携して、推進する事業

(5) まちづくり公民連携事業

様々な市民団体・NPO・企業・学校などと、行政とが連携をして、推進する事業

(6) まちづくり広域連携事業

藤沢市と各種の行政機関（国・県・周辺市町など）が広域で連携して、推進する事業

3 まちづくり事業の進め方

まちづくり事業は、多様な主体がそれぞれの力で進めていきますが、その進め方のポイントは次のとおりです。

(1) まちづくり行政事業（全市・地区）

行政が責任を持って実施するものとして、行政評価や進捗管理ができるようにし、市民、地域の声を聞きながら、様々な地域組織・市民団体などの協力関係も構築して推進します。

(2) まちづくり地域事業

地域の様々な組織・団体が主体的に取り組むものとして、点検と試行錯誤によって、少しずつ追加・修正・変更をしながら前進していくものとして推進します。

(3) まちづくり連携事業（市民連携・公民連携・広域連携）

全市的な観点から、様々な組織・団体・行政機関が連携して取り組むものとして、連携による効果的かつ効率的な成果を模索しながら、知恵と工夫によって、多くの団体・組織等が関わることができる持続的な仕組みづくりを進めていくものとして推進します。

4 政策仕分けによるまちづくり行政事業の選定

(1) 実施計画策定の前提

基本計画で示された目標とするあるべき姿としての目標を実現するために、状況の分析から導かれた、目標をより具体化した活動の指針としての「政策」と「地域まちづくり活動」から具体的な活動としてまちづくり行政事業を設定します。

(2) 政策仕分け

実施計画と中長期財政計画及び短期財政計画の整合性と関連性をより明確にするために、政策から実施計画への移行にあたっては、戦略性をもって「選択と集中」を図るための政策仕分けを行います。

(3) 政策仕分けの視点

政策仕分けの視点としては、次のとおりです。

ア 行政経営資源の有効配分の視点

イ 基本計画を具体化する優先度、緊急性と政策の波及効果の視点

ウ 新しい公共と地域分権の視点

エ 公民連携事業化提案制度に基づく民間等のノウハウ、技術、資金導入の視点

オ 「ふじさわ未来課題」により市民ニーズが高く、新総合計画の実現に先導的役割を持つ事業の視点



# 第3章

## 短期財政計画

## 1 計画期間における展望

近年は、100年に1度と言われる深刻な世界的景気後退をもたらし、企業の破綻や、それに伴う雇用不安・失業者の増大という多くの問題を生み出しています。

世界経済は、景気後退から脱却し回復に向かっているとされていますが、これは中国やインドを中心とするアジアの新興国の成長によるところが大きく、欧米等の先進国の回復力は依然として脆弱であると言われています。

国内経済においては、2008年（平成20年）8月の月例経済報告で「景気は弱含んでいる」と下方修正され、2002年（平成14年）から始まった戦後最長といわれた経済成長に終止符が打たれました。そして経済状況の悪化、危機的な状況により、企業の雇用調整や生産調整などが本格化し、政府は、雇用対策をはじめとする緊急経済対策を実施しましたが、円高傾向も継続しており、市民生活は大変厳しい状況となりました。

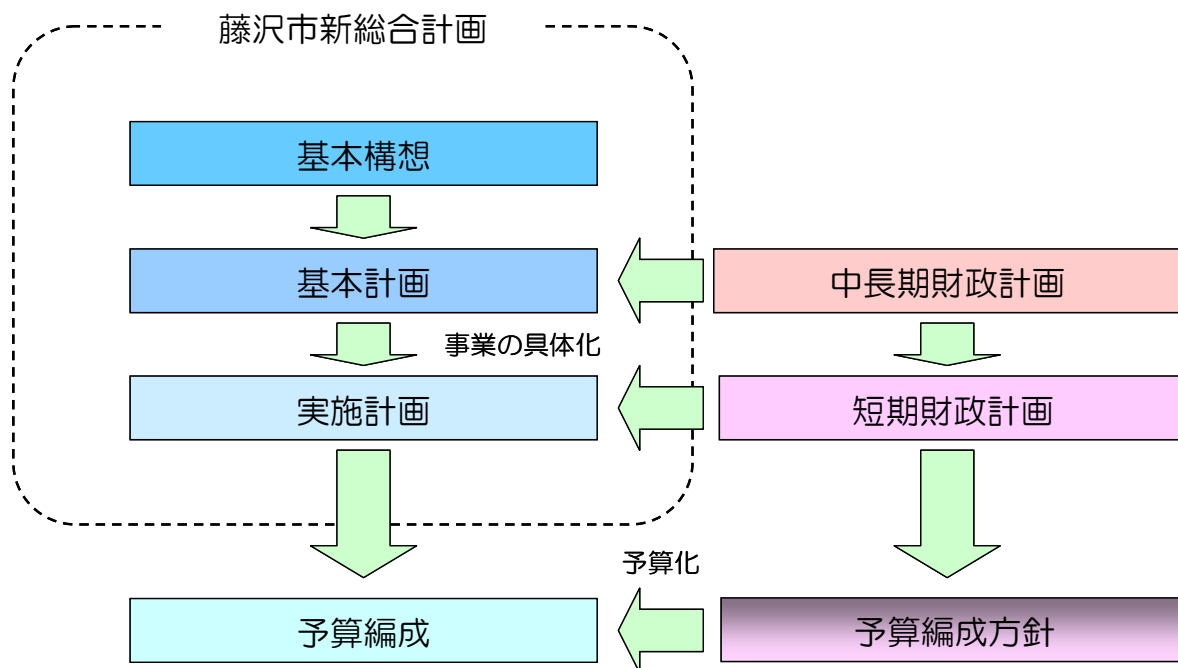
藤沢市においても、経済活動の低迷や個人所得の減少によって市税収入が減少しています。企業誘致による税収増という要因もありますが、全体的には引き続き厳しい歳入の状況下での事業実施が求められます。

また、歳出については、生活保護や医療等の社会保障に関する費用（扶助費）が非常に高い伸びで推移しており、他の事業経費を圧迫する状況が今後も続くことが予想されます。

## 2 短期財政計画の位置づけ

基本計画計画期間（12年間）の歳入・歳出見込を中長期財政計画として示しましたが、実施計画では、3年間の歳入・歳出見込を短期財政計画として示します。

短期財政計画は、各年度における実施計画計画事業の事業費を積み上げ、財源不足については、事業の見直しによる事業費の圧縮、実施年度の見直し、事業手法の見直しによる歳出の平準化などで対応します。また、短期財政計画の初年度については、予算編成と連動して進めます。



### 3 短期財政計画

#### 新総合計画短期財政計画(一般会計)

(単位:百万円)

(歳入見込)	平成23年度計画額		平成24年度計画額		平成25年度計画額		計画期間総額	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市税	69,733	69,733	72,365	72,365	71,629	71,629	213,727	213,727
その他	13,740	4,551	10,532	4,324	10,345	4,121	34,617	12,996
自主財源計	83,473	74,284	82,897	76,689	81,974	75,750	248,344	226,723
地方譲与税等	5,036	5,036	5,474	5,474	5,474	5,474	15,984	15,984
国庫支出金	18,743	0	20,832	0	21,051	0	60,626	0
県支出金	6,059	0	6,402	0	6,846	0	19,307	0
その他	9,160	4,340	9,021	4,195	7,247	4,195	25,428	12,730
依存財源計	38,998	9,376	41,729	9,669	40,618	9,669	121,345	28,714
合計①	122,471	83,660	124,626	86,358	122,592	85,419	369,689	255,437

(歳出見込)		平成23年度計画額		平成24年度計画額		平成25年度計画額		計画期間総額	
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
経常的経費	人件費	26,199	25,431	26,330	25,558	26,783	25,992	79,312	76,981
	扶助費	21,529	4,179	23,251	4,513	24,414	4,739	69,194	13,431
	公債費	10,304	9,304	10,479	9,979	10,626	10,626	31,409	29,909
	その他	23,836	17,937	23,746	18,105	23,667	18,105	71,249	54,147
	経常的経費計②	81,868	56,851	83,806	58,155	85,490	59,462	251,164	174,468
政策的経費投入可能財源③(①-②)		40,603	26,809	40,820	28,203	37,102	25,957	118,525	80,969

(総合計画事業費見込) 予算要求ベース		平成23年度計画額		平成24年度計画額		平成25年度計画額		計画期間総額	
		事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市域全体のまちづくり計画(本庁)									
地域まちづくり計画(13地区)									
総合計画事業費合計④		0	0	0	0	0	0	0	0
その他政策経費⑤									
歳出合計②+④+⑤		122,471	83,660	124,626	86,358	122,592	85,419	369,689	255,437

1. 上段 中長期財政計画(歳入)
2. 中断 中長期財政計画(歳出)
3. 下段 総合計画事業費(市域全体/地域/総合計画事業費合計)

新総合計画短期財政計画(市域全体のまちづくり計画 部別集計)

(単位:千円)

部名	H23		H24		H25		計画期間総計	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市長室							0	0
総務部							0	0
経営企画部							0	0
市民自治部							0	0
保健福祉部							0	0
こども青少年部							0	0
経済部							0	0
環境部							0	0
計画建築部							0	0
土木部							0	0
まちづくり推進部							0	0
消防本部							0	0
市民病院(特別会計)							0	0
教育総務部							0	0
生涯学習部							0	0
合計(一般会計)	0	0	0	0	0	0	0	0

## 新総合計画短期財政計画(地域まちづくり計画 13地区別集計)

(単位:千円)

市民センター・公民館	H23		H24		H25		計画期間総計	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
片瀬市民センター							0	0
鶴沼市民センター							0	0
辻堂市民センター							0	0
村岡公民館							0	0
藤沢公民館							0	0
明治市民センター							0	0
善行市民センター							0	0
湘南大庭市民センター							0	0
六会市民センター							0	0
湘南台市民センター							0	0
遠藤市民センター							0	0
長後市民センター							0	0
御所見市民センター							0	0
全地区合計(一般会計)	0	0	0	0	0	0	0	0

新総合計画短期財政計画(「藤沢づくり」のめざす方向性別集計)

(単位:千円)

藤沢づくりのめざす方向性	H23		H24		H25		計画期間総計	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち							0	0
2 明日の藤沢を担う「藤沢のこどもたち」を育む環境							0	0
3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち							0	0
4 共に生き、共に創る地域社会の創出							0	0
5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展							0	0
6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資							0	0
7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生							0	0
8 公共資産の維持管理と有効活用							0	0
9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出							0	0
合計(一般会計)	0	0	0	0	0	0	0	0